

令和 4年 6月22日

皮膚科学講座教育・研究組織への提言

1. 講座のあり方と方向性

皮膚科学講座は皮膚科学の教育と高度な専門的医療を行い、地域医療を推進する専門医を養成し、当該分野の発展に寄与することを目的とする。そのためには、先端的かつ国際的な研究を推進することが求められる。これらを通して、人材の確保をより一層推進していくことが必要である。

2. 診療

高度な皮膚科診療を中心に、本学附属病院における診療の中核となつて先進的医療を実践し、また、他診療科及び診療部門等との連携の下に地域医療を推進する。

3. 教育

卒前・卒後教育の全ての面で積極的に関与する。

4. 研究

上記の教育・診療に関連した臨床的、基礎的研究を推進する。

5. 社会活動

地域医療に対して積極的に貢献する。

6. その他

皮膚科学講座の構成員として、第一に求められるものは、卓越した臨床能力と、それを追求する真摯な姿勢である。特に、教授には、先進医療施設としての役割を担う附属病院の中核となり、診療機能の充実を果たすとともに、講座・診療科を統率する能力を有する人物が求められる。

皮膚科学講座教育・研究組織提言委員会

廣田和美（委員長）、大山 力（副委員長）、水上浩哉
鬼島 宏、袴田健一、石橋恭之、松原 篤、漆館聡志